

平成 29 年度 病院事業決算状況

都道府県名 福井県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	県立病院	2
-	すこやかシルバー病院	3
敦賀市	市立敦賀病院	4
坂井市	坂井市立三国病院	5
越前町	国保織田病院	6
公立小浜病院組合	小浜病院	7
公立小浜病院組合	レイクヒルズ美方病院	8
公立丹南病院組合	丹南病院	9

病院事業決算状況 (29 年度)				都道府県名	福井県
				市町村・組合名	
				病院名	県立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	86,409 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	668	77.0	73.7	74.0
療養	-	-	-	-
結核	10	48.9	27.4	19.0
精神	198	64.0	57.5	57.6
感染症	4	15.7	12.7	4.8
計	880	73.0	68.3	68.4
平均在院日数（一般病床のみ）		11.9	13.0	13.2

設立団体の状況		
人口（人）	786,740	
決算規模（千円）	451,217,611	
標準財政規模（千円）	256,055,887	
財政力指数	0.40661	
経常収支比率（%）	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.3
	将来負担比率（%）	169.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	84.7
修正医業収支金額（千円）	18,378,568

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,056,262			
1 経常収益	23,056,262			
(1) 医業収益	18,905,046			
入院収益	13,230,989			
外来収益	4,683,745			
診療収入計	17,914,734			
その他医業収益	990,312			
(うち他会計負担金)	526,478			
(2) 医業外収益	4,151,216			
(うち国・都道府県補助金)	13,855			
(うち他会計補助・負担金)	1,598,366			
(うち長期前受金戻入)	2,264,698			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,344,669			
2 経常費用	22,977,345			
(1) 医業費用	21,686,652			
職員給与費	10,564,636	55.9	55.9	50.2
材料費	4,972,949	26.3	24.0	27.7
(うち薬品費)	2,439,266	12.9	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,372,995	12.6	11.1	12.9
減価償却費	2,875,371	15.2	9.2	8.3
経費	3,185,430	16.8	23.2	20.7
(うち委託料)	2,211,705	11.7	11.2	11.4
研究研修費	72,898			
資産減耗費	15,368			
(2) 医業外費用	1,290,693			
(うち支払利息)	454,961	2.4	1.7	1.5
(3) 特別損失	367,324			
損益				
経常損益	78,917			
純損益	-288,407			
累積欠損金	2,808,345			
経常収支比率	100.3		98.0	99.7
医業収支比率	87.2		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	9.2		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	91.1		85.9	90.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	41,692,687
1 固定資産	28,611,902
(1) 有形固定資産	27,705,425
(2) 無形固定資産	14,183
(3) 投資その他の資産	892,294
2 流動資産	13,080,785
(1) 現金及び預金	9,103,984
(2) 未収金及び未収収益	3,839,476
(3) 貸倒引当金（ ）	3,166
(4) 貯蔵品	129,491
3 繰延資産	-
負債合計	40,642,149
1 固定負債	28,797,279
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	25,969,904
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,827,375
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,869,751
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,276,966
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	537,280
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,935,123
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,975,119
(1) 長期前受金	31,322,393
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	25,347,274
資本合計	1,050,538
1 資本金	1,777,720
2 剰余金	-727,182
(1) 資本金剰余金	870,579
(2) 利益剰余金	-1,597,761
負債・資本合計	41,692,687
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,089,815	2,124,844
資本勘定繰入	1,742,562	1,742,562
計	3,832,377	3,867,406

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	8.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29 年度)		都道府県名	福井県
		市町村・組合名	
		病院名	すこやかシルバー病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,485 m ²	指定病院の状況	
診療科数	4	看護配置	20:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	83.8	83.8	80.0
感染症	-	-	-	-
計	100	83.8	83.8	80.0
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	786,740	
決算規模(千円)	451,217,611	
標準財政規模(千円)	256,055,887	
財政力指数	0.40661	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.3
	将来負担比率(%)	169.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.5
修正医業収支金額(千円)	534,328

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	791,972			
1 経常収益	791,972			
(1) 医業収益	534,328			
入院収益	457,865			
外来収益	76,463			
診療収入計	534,328			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	257,644			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	226,233			
(うち長期前受金戻入)	26,121			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	766,877			
2 経常費用	766,877			
(1) 医業費用	708,159			
職員給与費	-	-	55.9	94.3
材料費	-	-	24.0	8.8
(うち薬品費)	-	-	12.4	6.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	1.1
減価償却費	56,129	10.5	9.2	12.6
経費	652,030	122.0	23.2	33.3
(うち委託料)	-	-	11.2	16.0
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	58,718			
(うち支払利息)	56,855	10.6	1.7	3.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	25,095			
純損益	25,095			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.3		98.0	100.2
医業収支比率	75.5		88.4	66.8
他会計繰入金対経常収益比率	28.6		12.4	33.7
他会計繰入金対医業収益比率	42.3		14.5	52.8
他会計繰入金対総収益比率	28.6		12.4	33.4
実質収益対経常費用比率	73.8		85.9	66.5

備考：
「類似平均」については経営規模区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	41,692,687
1 固定資産	28,611,902
(1) 有形固定資産	27,705,425
(2) 無形固定資産	14,183
(3) 投資その他の資産	892,294
2 流動資産	13,080,785
(1) 現金及び預金	9,103,984
(2) 未収金及び未収収益	3,839,476
(3) 貸倒引当金()	3,166
(4) 貯蔵品	129,491
3 繰延資産	-
負債合計	40,642,149
1 固定負債	28,797,279
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	25,969,904
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,827,375
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,869,751
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,276,966
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	537,280
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,935,123
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,975,119
(1) 長期前受金	31,322,393
(2) 長期前受金収益化累計額()	25,347,274
資本合計	1,050,538
1 資本金	1,777,720
2 剰余金	-727,182
(1) 資本金剰余金	870,579
(2) 利益剰余金	-1,597,761
負債・資本合計	41,692,687
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	226,233	226,233
資本勘定繰入	94,750	94,750
計	320,983	320,983

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	福井県
	市町村・組合名	敦賀市
	病院名	市立敦賀病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	30,092 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 輪
診療科数	21	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	330	81.1	79.4	78.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	332	80.6	79.0	78.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	14.8	16.4

設立団体の状況		
人口(人)	66,165	
決算規模(千円)	27,134,222	
標準財政規模(千円)	15,931,159	
財政力指数	0.95	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	6.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.9
修正医業収支金額(千円)	6,524,912

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,787,414			
1 経常収益	7,775,875			
(1) 医業収益	6,823,678			
入院収益	4,082,821			
外来収益	2,075,147			
診療収入計	6,157,968			
その他医業収益	665,710			
(うち他会計負担金)	298,766			
(2) 医業外収益	952,197			
(うち国・都道府県補助金)	116,004			
(うち他会計補助・負担金)	404,632			
(うち長期前受金戻入)	333,609			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,539			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,667,091			
2 経常費用	7,632,680			
(1) 医業費用	7,023,573			
職員給与費	3,284,484	48.1	55.9	56.9
材料費	1,541,499	22.6	24.0	24.2
(うち薬品費)	660,085	9.7	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	874,544	12.8	11.1	11.7
減価償却費	557,520	8.2	9.2	9.5
経費	1,598,185	23.4	23.2	21.8
(うち委託料)	706,297	10.4	11.2	10.7
研究研修費	41,148			
資産減耗費	737			
(2) 医業外費用	609,107			
(うち支払利息)	88,945	1.3	1.7	1.8
(3) 特別損失	34,411			
損益				
経常損益	143,195			
純損益	120,323			
累積欠損金	568,516			
経常収支比率	101.9		98.0	96.3
医業収支比率	97.2		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	10.3		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	9.0		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	92.7		85.9	85.4

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,092,210
1 固定資産	7,659,329
(1) 有形固定資産	7,387,772
(2) 無形固定資産	127,730
(3) 投資その他の資産	143,827
2 流動資産	3,432,881
(1) 現金及び預金	2,054,361
(2) 未収金及び未収収益	1,367,430
(3) 貸倒引当金()	10,505
(4) 貯蔵品	21,595
3 繰延資産	-
負債合計	9,137,537
1 固定負債	4,664,910
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,372,486
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,226,777
(7) リース債務	65,547
2 流動負債	1,121,481
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	404,935
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	229,544
(6) リース債務	53,001
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	412,595
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,351,146
(1) 長期前受金	10,033,355
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,682,209
資本合計	1,954,673
1 資本金	2,433,060
2 剰余金	-478,387
(1) 資本剰余金	90,129
(2) 利益剰余金	-568,516
負債・資本合計	11,092,210
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	703,398	703,398
資本勘定繰入	234,503	234,503
計	937,901	937,901

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	福井県
	市町村・組合名	坂井市
	病院名	坂井市立三国病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,291 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	12	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	105	60.3	53.5	59.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	60.3	53.5	59.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	14.4	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	90,280	
決算規模(千円)	39,824,129	
標準財政規模(千円)	21,954,565	
財政力指数	0.66	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	134.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.4
修正医業収支金額(千円)	1,471,849

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,881,015			
1 経常収益	1,881,015			
(1) 医業収益	1,539,267			
入院収益	777,450			
外来収益	618,163			
診療収入計	1,395,613			
その他医業収益	143,654			
(うち他会計負担金)	67,418			
(2) 医業外収益	341,748			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	310,427			
(うち長期前受金戻入)	2,398			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,021,144			
2 経常費用	2,015,473			
(1) 医業費用	1,900,708			
職員給与費	1,038,156	67.4	55.9	59.8
材料費	247,684	16.1	24.0	17.7
(うち薬品費)	131,092	8.5	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	95,522	6.2	11.1	8.0
減価償却費	185,577	12.1	9.2	10.4
経費	424,818	27.6	23.2	31.2
(うち委託料)	225,482	14.6	11.2	12.8
研究研修費	4,473			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	114,765			
(うち支払利息)	50,674	3.3	1.7	1.8
(3) 特別損失	5,671			
損益				
経常損益	-134,458			
純損益	-140,129			
累積欠損金	2,437,887			
経常収支比率	93.3		98.0	96.3
医業収支比率	81.0		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	20.1		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	24.5		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	20.1		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	74.6		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,110,647
1 固定資産	2,784,218
(1) 有形固定資産	2,769,304
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	14,914
2 流動資産	326,429
(1) 現金及び預金	39,939
(2) 未収金及び未収収益	278,675
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,815
3 繰延資産	-
負債合計	2,715,397
1 固定負債	2,301,907
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,301,907
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	362,695
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	169,859
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	51,993
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	140,753
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	50,795
(1) 長期前受金	69,055
(2) 長期前受金収益化累計額()	18,260
資本合計	395,250
1 資本金	2,833,137
2 剰余金	-2,437,887
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,437,887
負債・資本合計	3,110,647
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	297,845	377,845
資本勘定繰入	122,155	122,155
計	420,000	500,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	158.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	福井県
	市町村・組合名	越前町
	病院名	国保織田病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,216 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	10	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	55	85.1	85.2	85.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	85.1	85.2	85.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	11.0	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	21,538	
決算規模(千円)	13,184,885	
標準財政規模(千円)	7,919,431	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	7.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	326,994			
1 経常収益	326,994			
(1) 医業収益	36,294			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	36,294			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	290,700			
(うち国・都道府県補助金)	188			
(うち他会計補助・負担金)	54,698			
(うち長期前受金戻入)	37,480			
(うち資本費繰入収益)	48,222			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	320,329			
2 経常費用	320,329			
(1) 医業費用	156,481			
職員給与費	-	-	55.9	69.4
材料費	-	-	24.0	17.1
(うち薬品費)	-	-	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.8
減価償却費	113,387	312.4	9.2	11.6
経費	42,909	118.2	23.2	31.2
(うち委託料)	1,014	2.8	11.2	12.1
研究研修費	-			
資産減耗費	185			
(2) 医業外費用	163,848			
(うち支払利息)	13,848	38.2	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	6,665			
純損益	6,665			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.1		98.0	98.0
医業収支比率	23.2		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	27.8		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	250.7		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	27.8		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	73.7		85.9	75.8

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,629,853
1 固定資産	1,387,112
(1) 有形固定資産	1,387,005
(2) 無形固定資産	107
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	242,741
(1) 現金及び預金	241,166
(2) 未収金及び未収収益	1,575
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,029,247
1 固定負債	549,127
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	549,127
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	98,332
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	97,384
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	948
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	381,788
(1) 長期前受金	570,468
(2) 長期前受金収益化累計額()	188,680
資本合計	600,606
1 資本金	329,311
2 剰余金	271,295
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	271,295
負債・資本合計	1,629,853
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	90,993	90,992
資本勘定繰入	55,439	66,579
計	146,432	157,571

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29 年度)				都道府県名	福井県
				市町村・組合名	公立小浜病院組合
				病院名	小浜病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,339 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
診療科数	20	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一 般	296	89.6	87.3	85.8
療 養	50	74.9	75.1	70.2
結 核	8	5.7	7.4	5.0
精 神	100	81.8	81.2	81.3
感 染 症	2	-	1.2	-
計	456	82.8	81.5	79.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	13.6	16.8

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.7
修正医業収支金額(千円)	6,524,522

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総 収 益	8,238,126			
1 経 常 収 益	8,238,126			
(1) 医 業 収 益	6,694,909			
入 院 収 益	4,345,328			
外 来 収 益	1,930,636			
診 療 収 入 計	6,275,964			
そ の 他 医 業 収 益	418,945			
(うち他会計負担金)	170,387			
(2) 医 業 外 収 益	1,543,217			
(うち国・都道府県補助金)	25,987			
(うち他会計補助・負担金)	435,200			
(うち長期前受金戻入)	144,682			
(うち資本費繰入収益)	252,268			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	8,357,023			
2 経 常 費 用	8,357,023			
(1) 医 業 費 用	7,271,714			
職 員 給 与 費	3,761,523	56.2	55.9	55.2
材 料 費	1,254,850	18.7	24.0	25.7
(うち薬品費)	583,105	8.7	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	564,107	8.4	11.1	12.3
減 価 償 却 費	684,149	10.2	9.2	8.5
経 理 費	1,473,758	22.0	23.2	19.0
(うち委託料)	430,322	6.4	11.2	9.1
研 究 研 修 費	91,698			
資 産 減 耗 費	5,736			
(2) 医 業 外 費 用	1,085,309			
(うち支払利息)	185,406	2.8	1.7	1.6
(3) 特 別 損 失	-			
損 益				
経 常 損 益	-118,897			
純 損 益	-118,897			
累 積 欠 損 金	2,068,099			
経 常 収 支 比 率	98.6		98.0	98.4
医 業 収 支 比 率	92.1		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	9.0		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	7.4		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	91.3		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資 産 合 計	13,909,620
1 固 定 資 産	12,436,885
(1) 有 形 固 定 資 産	11,952,302
(2) 無 形 固 定 資 産	8,831
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	475,752
2 流 動 資 産	1,472,735
(1) 現 金 及 び 預 金	163,569
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	1,268,040
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	349
(4) 貯 蔵 品	36,712
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	12,989,239
1 固 定 負 債	8,909,684
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,909,684
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	-
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	2,226,600
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	701,950
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	319,901
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	510,000
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	649,538
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	1,852,955
(1) 長 期 前 受 金	3,500,093
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	1,647,138
資 本 合 計	920,381
1 資 本 金	3,149,145
2 剰 余 金	-2,228,764
(1) 資 本 剰 余 金	549,775
(2) 利 益 剰 余 金	-2,778,539
負 債 ・ 資 本 合 計	13,909,620
不 良 債 務	51,915
実 質 資 金 不 足 額	51,915
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	589,680	605,587
資本勘定繰入	363,937	252,268
計	953,617	857,855

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29 年 度	51,915	0.7
28 年 度	-	-
27 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	41.4
健全化法上の資金不足額(千円)	51,917
健全化法上の資金不足比率(%)	0.6
地財法上の資金不足額(千円)	51,917
地財法上の資金不足比率(%)	0.6

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	福井県
	市町村・組合名	公立小浜病院組合
	病院名	レイクヒルズ美方病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	12,924 m ²	指定病院の状況	
診療科数	7	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	42	86.9	88.6	74.0
療養	58	88.2	92.8	90.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	87.6	91.1	83.6
平均在院日数(一般病床のみ)		36.9	39.6	49.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.8
修正医業収支金額(千円)	734,264

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,036,673			
1 経常収益	1,036,673			
(1) 医業収益	734,264			
入院収益	526,385			
外来収益	182,365			
診療収入計	708,750			
その他医業収益	25,514			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	302,409			
(うち国・都道府県補助金)	1,096			
(うち他会計補助・負担金)	194,559			
(うち長期前受金戻入)	29,772			
(うち資本費繰入収益)	74,070			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,062,996			
2 経常費用	1,062,996			
(1) 医業費用	1,009,041			
職員給与費	615,521	83.8	55.9	59.8
材料費	109,093	14.9	24.0	17.7
(うち薬品費)	82,240	11.2	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	23,106	3.1	11.1	8.0
減価償却費	84,908	11.6	9.2	10.4
経費	183,859	25.0	23.2	31.2
(うち委託料)	103,827	14.1	11.2	12.8
研究研修費	1,454			
資産減耗費	14,206			
(2) 医業外費用	53,955			
(うち支払利息)	27,109	3.7	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-26,323			
純損益	-26,323			
累積欠損金	1,011,102			
経常収支比率	97.5		98.0	96.3
医業収支比率	72.8		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	18.8		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	26.5		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	18.8		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	79.2		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,909,620
1 固定資産	12,436,885
(1) 有形固定資産	11,952,302
(2) 無形固定資産	8,831
(3) 投資その他の資産	475,752
2 流動資産	1,472,735
(1) 現金及び預金	163,569
(2) 未収金及び未収収益	1,268,040
(3) 貸倒引当金()	349
(4) 貯蔵品	36,712
3 繰延資産	-
負債合計	12,989,239
1 固定負債	8,909,684
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,909,684
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,226,600
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	701,950
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	319,901
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	510,000
(8) 未払金及び未払費用	649,538
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,852,955
(1) 長期前受金	3,500,093
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,647,138
資本合計	920,381
1 資本金	3,149,145
2 剰余金	-2,228,764
(1) 資本剰余金	549,775
(2) 利益剰余金	-2,778,539
負債・資本合計	13,909,620
不良債務	51,915
実質資金不足額	51,915
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	185,760	194,559
資本勘定繰入	51,781	77,712
計	237,541	272,271

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	51,915	0.7
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	41.4
健全化法上の資金不足額(千円)	51,917
健全化法上の資金不足比率(%)	0.6
地財法上の資金不足額(千円)	51,917
地財法上の資金不足比率(%)	0.6

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	福井県
	市町村・組合名	公立丹南病院組合
	病院名	丹南病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	15,070 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災輪
診療科数	16	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	175	74.4	74.5	72.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	179	72.7	72.8	71.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	12.2	11.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.3
修正医業収支金額(千円)	4,047,219

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,448,450			
1 経常収益	4,448,450			
(1) 医業収益	4,226,632			
入院収益	2,235,928			
外来収益	1,600,915			
診療収入計	3,836,843			
その他医業収益	389,789			
(うち他会計負担金)	179,413			
(2) 医業外収益	221,818			
(うち国・都道府県補助金)	2,383			
(うち他会計補助・負担金)	32,350			
(うち長期前受金戻入)	99,236			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,572,425			
2 経常費用	4,572,306			
(1) 医業費用	4,532,572			
職員給与費	2,136	0.1	55.9	59.8
材料費	-	-	24.0	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.0
減価償却費	403,477	9.5	9.2	10.4
経費	4,126,959	97.6	23.2	31.2
(うち委託料)	229,194	5.4	11.2	12.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	39,734			
(うち支払利息)	22,429	0.5	1.7	1.8
(3) 特別損失	119			
損益				
経常損益	-123,856			
純損益	-123,975			
累積欠損金	1,862,501			
経常収支比率	97.3		98.0	96.3
医業収支比率	93.3		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.8		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	5.0		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	4.8		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	92.7		85.9	81.0

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,975,465
1 固定資産	5,203,933
(1) 有形固定資産	5,044,933
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	159,000
2 流動資産	771,532
(1) 現金及び預金	123,958
(2) 未収金及び未収収益	647,574
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,614,846
1 固定負債	1,594,616
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,594,616
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	571,723
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	341,716
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	230,007
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,448,507
(1) 長期前受金	1,814,616
(2) 長期前受金収益化累計額()	366,109
資本合計	2,360,619
1 資本金	746,620
2 剰余金	1,613,999
(1) 資本金剰余金	3,476,500
(2) 利益剰余金	-1,862,501
負債・資本合計	5,975,465
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	212,331	211,763
資本勘定繰入	105,002	105,002
計	317,333	316,765

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。